

令和6年度 公益財団法人静岡県国際交流協会事業報告

令和6年度は、円安が進んだことで、外国人観光客の日本への訪問が増加し、2024年の訪日外国人旅行者数は、コロナ禍前を大幅に上回り、過去最多を記録した。円安を背景に、消費額を押し上げている。世界的にも外国人留学生が増加している中で、日本においても、多様な国・地域の外国人留学生を受け入れており、留学生総数は過去最多となっている。日本語教育機関においても、調査を開始した2011年度以降過去最多となっている。(令和6年5月1日独立行政法人日本学生支援機構)

総務省が4月に公表した人口推計で人口減の加速が鮮明となっており、労働力不足の深刻化や地域経済の縮小に懸念があり、働き手を補う外国人獲得に力を入れる地域も目立ってきた。外国人人材の受入れは、技能実習生制度に代わる「育成就労」制度が2027年度に導入される。外国人本人の意向で転籍が可能となり、人材が都市部へ流れる懸念があり定着に向けた環境整備が必要となる。

静岡県の人口増減率は、全国平均▲0.44%と比較し、▲0.8%と高くなっている。一方、静岡県の外国人数は令和6年6月末現在120,314人となり、過去最多を更新している。静岡県で外国人を除く人口の増加率は14年連続で減少しており、外国人の増加が、静岡県の人口減少に歯止めをかけていると考えられる。静岡県の主な出身国(地域)別に見ると、アジア圏の国・地域で大幅な増加となっている。特に、静岡県でブラジルに次ぐ2位だったフィリピンがベトナムになるなど変化が生まれている。

国では、外国人材の受入環境整備金を交付し、外国人相談窓口運営の財政的な支援を行っている。令和6年度からは、「外国人支援コーディネーター」の資格取得のための研修を開始することで、専門性を備えた窓口運営を進めている。日本語教育においても、日本語教育の全国展開・学習機会の確保や日本語教育の質の向上を目的とした事業として、令和6年度から、日本語教育機関や日本語教員の認定が実施され、質の高い日本語教育を提供するための仕組み作りが始まっている。

そのような中、静岡県国際交流協会は、中・長期計画を策定し、重点事業として、相談事業の強化、自立した若者の輩出、地域日本語教育の充実を掲げている。

令和元年から受託する外国人相談窓口「静岡県多文化共生総合相談センター」の運営は7年目となる。「外国人支援コーディネーター」には、ブラジルにルーツがある相談員が受講し、認定されている。外国人支援の最前線に立ち、関係性・専門性の深化や人材育成に努めた。

また、若者の輩出に関しても、進学や就職を果たした先輩と連携し、ロールモデルの紹介を行うと共に、職業体験を通して、外国人特有のキャリアの障壁の原因を突き詰めながら、若者に寄り添った支援を進め、経験を積んでいる。

資産運用では、基本財産の投資有価証券の令和7年3月末の時価指数は、101.48(前年度104.95)となった。また、事業実施に当たっては、年間を通じ効率的な事業執行や事業効果の最大化を図り、公益財団法人を知悉する会計事務所の指導及び指示に基づき的確な会計処理に努めた。

1 国際理解・交流推進事業 (16,495,158 円 内共通経費 3,434,822 円)

【県民・団体への働きかけ、連携強化】 (9,591,190 円)

(1) 情報収集提供事業	・ 情報誌、ホームページ
(2) 国際理解教育事業	・ 「アース（明日）カレッジ」の開催
(3) 外国語ボランティアバンク設置及び 災害時外国語ボランティア育成事業	・ 外国語ボランティアバンクの登録、紹介 ・ 災害時外国語ボランティアの登録、育成
(4) 日本国際連合協会関連事業	・ 国連外国語講座（英語・韓国語）

【海外との関係強化・維持】 (3,469,146 円)

(5) 留学生支援事業	・ 「ふじのくに国際交流親善大使」設置 ・ 留学生就職支援事業
(6) 海外国際交流団体連携事業	・ 海外関係団体への情報提供
(7) 海外移住者援護事業	・ 「オレンジネット」への情報掲載、海外県人会への助成・表彰

2 多文化共生推進事業 (32,561,283 円 内共通経費 7,972,107 円)

【外国人住民支援】 (24,589,176 円)

(1) 外国人住民支援アドバイザー設置事業	・ 静岡県多文化共生総合相談センター「かめりあ」
(2) 外国人住民相談窓口高度化事業	・ 静岡県医療通訳体制整備事業 ・ 静岡型定住外国人就業・定着システム構築事業 ・ 外国につながる高校生を対象とした日本語教育及びキャリア支援事業 ・ ブラジル人学校生徒キャリア形成支援事業
(3) 日本語指導ボランティア研修会開催事業	・ 「静岡県日本語ボランティアセミナー」の開催
(4) 外国人学校児童生徒日本語支援事業	・ 日本語指導者との課題共有

【地域連携・協働事業】

(5) 多文化共生団体ネットワーク構築	・ 社会福祉協議会等、関係団体の情報共有
(6) 外国人児童支援事業	・ ブラジル人学校日本語教育事業
(7) 外国人技能実習生等日本語支援事業	・ 企業への実習生受入相談対応

1 国際理解・交流推進事業

【 県民・団体への働きかけ、連携強化 】

(1) 情報収集提供事業

- ア 情報誌(SIR Joy Press) 3,800部を年11回発行した。
- イ ホームページ「SIR 静岡県国際交流協会」の保守及び5言語（日本語・やさしい日本語・英語・スペイン語・ポルトガル語）による情報提供を行った。
- ・平均ページビュー数 16,217件/月

(2) 国際理解教育事業

国際理解・交流推進に取り組む県内外団体が連携・協働を強化するとともに、県民への情報発信力を高めるため、地域課題に取り組む諸団体・実践者と連携して「アース(明日)カレッジ2024」を開催した。

アース(明日)カレッジ2024

開催時期	令和6年9月16日(月・祝)
内 容	「誰もがセンセイ、誰もがセイト」をコンセプトに、22講座を開催し、展示コーナーを設置した。タイや中国、インドネシア等の留学生や外国人住民が、それぞれの国のお祭りや遊びを紹介し、県民との交流を図った。
会 場	静岡市葵生涯学習センター アイセル21(静岡市)
講 師	静岡県国際交流協会親善大使、しずおか自主夜間教室、静岡県中小企業家同友会、他
参 加 者	590名(延人数)

(3) 外国語ボランティアバンク設置及び災害時外国語ボランティア育成事業(県委託事業)

県の国際的イベント開催時の言語支援や災害時の外国人住民への円滑な支援体制の構築等を図るため、語学が堪能な県民のボランティア登録を行った。災害時の外国人支援体制を整備するため、災害時外国語ボランティアの募集・登録を行い、研修会を実施した。

ア 外国語ボランティアバンク設置

- ・登録者数 1,492名 31言語 (内災害時外国語ボランティア 442名 20言語)

イ 災害時外国語ボランティア研修会の開催

静岡県災害時多言語支援センターや、災害時外国語ボランティアの活動についての説明及び講義を行った。

「外国人の声をきこう」

開催時期	令和6年11月9日(土)
内 容	県内在住の外国人3名による災害経験についての発表や地震防災センターの見学を行った。
会 場	静岡県地震防災センター(静岡市)
参 加 者	20名

災害時外国語ボランティア 通訳・翻訳ロールプレイング

開催時期	令和7年3月1日（土）
内 容	通訳や翻訳における注意事項や必要な事前準備等について学んだ後、災害時を想定し、外国人被災者役・行政職員役・通訳に分かれ、ロールプレイングを行った。
会 場	Zoom（オンライン）
講 師	岩田久美氏（（一社）多文化社会専門職機構認定相談通訳）
対象言語	英語
参 加 者	英語 14 名

災害時外国語ボランティア 通訳・翻訳ロールプレイング

開催時期	令和7年3月2日（日）
内 容	通訳や翻訳における注意事項や必要な事前準備等について学んだ後、災害時を想定し、外国人被災者役・行政職員役・通訳に分かれ、ロールプレイングを行った。
会 場	Zoom（オンライン）
講 師	岩田久美氏（（一社）多文化社会専門職機構認定相談通訳）
対象言語	中国語、ポルトガル語、スペイン語、やさしい日本語
参 加 者	17 名

(4) 日本国際連合協会関連事業

国際連合の機能・活動に対する理解を深め、語学力の向上を図る機会を提供するため、全 10 回の「国連外国語講座（英語・韓国語）」を年 3 期開催した。

国連外国語講座（英語・韓国語）

	静岡会場		沼津会場	
開催時期	(第1期) 令和6年5～8月 (第2期) 10～12月 (第3期) 令和7年1～3月			
内 容	英会話（初級、初中級、中級、上級） 韓国語（入門、初級）		英会話（初級、初中級、中級、上級）	
会 場	静岡県教育会館		沼津労政会館	
参 加 者	第1期	86名	第1期	39名
	第2期	86名	第2期	38名
	第3期	83名	第3期	37名
	計	255名	計	114名
	合計	369名		

【 海外との関係強化・維持 】

(5) 留学生支援事業

ア ふじのくに国際交流親善大使設置事業

県内大学に在籍する留学生や外国にルーツをもつ青年を「ふじのくに国際交流親善大使」に委嘱し、地域の国際交流事業に紹介をした。

委嘱者	張 守震（中国、静岡大学） 柳 金涵（中国、県立大学） Armaini Juwita（インドネシア、県立大学） Widya Medianto（インドネシア、静岡英和学院大学） Sakdiah Samli（インドネシア、静岡英和学院大学） Mya Pearl Soe（ミャンマー、静岡英和学院大学） Madurapperuma Arachchige Dinuka Geethanjana Pamarathna（スリランカ、静岡産業大学） Villacampa Nica（フィリピンルーツ、県立大学） Antony Alvarez（ペルールーツ、しずおか Job ステーション） 藤田 ジュリエッタ（アルゼンチンルーツ、スルガ銀行） 村上 ナオキ（ブラジルルーツ、県教育委員会他） 計 11 名
活動実績	「清水港ツアー」での通訳ボランティア、菊川市国際交流協会主催「料理講座」の講師、函南町都市交流協会主催交流会への参加、「災害時外国語ボランティア研修会での発表」ほか 計 13 件 延べ 21 人参加

イ 留学生就職支援事業（公益社団法人ふじのくに地域・大学コンソーシアム委託事業）

県内大学に在学し、静岡県内企業への就職を希望する留学生に対し、静岡県の産業や企業を学ぶ基礎講座や留学生の OBOG 交流会、インターンシップ、企業訪問を実施した。

基礎講座

開催時期	令和 6 年 6 月～令和 6 年 10 月
開催回数	静岡市 5 回 浜松市 5 回
会 場	静岡市 静岡 B-nest、静岡労政会館 浜松市 静岡大学浜松キャンパス
講 師	臼井国際産業(株)、(株)ユニバンス
〈県内企業〉	中山 勝氏（一般財団法人企業経営研究所 理事長）
〈キャリアカウンセラー他〉	野口直子氏（キャリアカウンセラー） 市川雄一郎氏（(株)ソミックアドバンス） 小野大輝氏（しずおか焼津信用金庫） しずおかジョブステーション
〈行政書士〉	宇佐美陽子氏 中津川浩淳氏
〈留学生 OBOG〉	フィルダウス・プリヨ・ハルトモ氏（インドネシア出身 (株)ヤタロー） ヴィシュミ・ダリーシャ氏（スリランカ出身 (株)小楠金属工業所） アティカ・フィルザ・シュアディ氏（インドネシア出身 (株)小楠金属工業所） チャン ティー クイン氏（ベトナム出身 焼津水産化学工業(株)）

	スマイヤ・ラヒラ氏（インド出身 ヤマハ発動機(株)） 孫 江明氏（中国出身 (株)大鉄アドバンス） 李 悠可氏（中国出身 (株)大鉄アドバンス） ド ハー フォン氏（ベトナム出身 元 IT 企業勤務） マハラジャン ディリプ氏（ネパール出身 (株)クア・アンド・ホテル） ピアンナパ コンピッチャヤノン氏（タイ出身 静岡ガス(株)）
参 加 者	留学生 129 名

インターンシップ

開催時期	令和 6 年 9 月 3 日（火）～ 9 月 9 日（月）
受入企業	(株)磯駒海苔（静岡市）、(株)中村機工（静岡市）、(株)イーシーセンター（富士市）
参 加 者	留学生 4 名

企業訪問

開催時期	令和 7 年 2 月 6 日（木）
訪問企業	白井国際産業(株)（駿東郡清水町）、(株)富士テクニカ宮津（駿東郡清水町）
参 加 者	留学生 29 名

(6) 海外国際交流団体連携事業

国際相互理解を促進するため、市民交流希望案件を情報誌やホームページ等を通じ、県民や県内の青少年団体や女性団体、自治体等に情報提供、提案した。

(7) 海外移住者援護事業（県補助事業）

協会ホームページ内「オレンジネット」及び情報誌にブラジル、アルゼンチン、ペルーの各県人会から提供された情報を掲載し、海外静岡県人会への助成や高齢者表彰を行った。

・在外県人会への助成

ブラジル県人会 700 千円、アルゼンチン県人会 200 千円、ペルー県人会 200 千円、サンパウロ日伯援護協会 80 千円、アマゾニア日伯援護協会 80 千円

・在外県人高齢者表彰

ブラジル 2 名

2 多文化共生推進事業

【 外国人住民支援 】

(1) 外国人住民支援アドバイザー設置事業（県委託事業）

外国人住民が抱える生活課題に対応するため、「静岡県多文化共生総合相談センター かめりあ」において外国人相談員及び日本人相談員を配置し、生活相談に対応した。

専門家による相談会を開催し、市町で実施される相談会等に出向き、各地域の相談対応を支援した。

静岡県多文化共生総合相談センター かめりあ

対応言語 言語別内訳	ベトナム語	813 件	英語	78 件
	インドネシア語	378 件	中国語	70 件
	日本語	377 件	韓国・朝鮮語	3 件
	フィリピン語	276 件	モンゴル語	1 件
	スペイン語	162 件	ネパール語	1 件
	ポルトガル語	90 件		
	合計		2, 249 件	
相談内容	入管手続き	637 件	教育	35 件
	雇用・労働	391 件	住宅	27 件
	医療	172 件	交通・運転免許	23 件
	身分関係	125 件	福祉	22 件
	社会保険・年金	98 件	手続一般	4 件
	通訳・翻訳	65 件	防災・災害	3 件
	税金	55 件	ウクライナ避難民関係	1 件
	出産・子育て	46 件	その他	582 件
	日本語学習	36 件		
	合計		2, 322 件	

専門家による相談会

入国管理局相談会 102 件（全 12 回）、行政書士相談会 7 件（全 6 回）

法律相談会 55 件（全 22 回）、社労士相談会 17 件（全 9 回）

こころの相談会 17 件（全 10 回）

(2) 外国人住民相談窓口高度化事業

外国人住民の生活で重要となる医療、福祉、教育、雇用、防災等の分野での具体的な支援策の構築を図るため、体制整備に向けた検討・研修会や調査を行った。

医療通訳者紹介や就労支援マッチング事業及び外国人の若者を対象としたキャリア教育や日本語教育に取り組んだ。

ア 静岡県医療通訳体制整備事業（（一財）自治体国際化協会助成金事業）

医療従事者を対象としたセミナー

開催時期	令和 7 年 2 月 15 日（土）
内 容	外国人診療向上を目的とし、医療通訳の必要性を伝えるため、医療通訳介入にかかるワークショップを実施し、医療通訳の取り組みや課題について紹介をし、外国人医療についての理解を深め、体制づくりを進めた。
会 場	中東遠総合医療センター（掛川市）
参 加 者	医師・関係者 38 名

医療通訳講座

開催時期	令和6年8月4日（日）、8月25日（日）	
内 容	外国人に必要な特定検診や成人健診をテーマとした通訳業務に必要な関連知識、対応力、通訳技術を学んだ。	
	第1回	第2回
会 場	Zoom（オンライン）	静岡県男女共同参画センター あざれあ（静岡市）
講 師	静岡県立大学 看護学部看護学科 濱井妙子 氏 港町診療所 所長・総合内科専門医 沢田貴志 氏	ポルトガル語 岩本 弥生 氏 スペイン語 形岡 洋光 氏 中国語講師 宇野 冬美 氏 フィリピン語 マクス ロイ パネル 氏 ベトナム語 ディン・ティ・ホン・ニユン 氏
参 加 者	32名 （中国語 5名、ポルトガル語 10名、スペイン語 4名、ベトナム語 8名、タガログ語 5名）	34名 （中国語 9名、ポルトガル語 7名、スペイン語 8名、ベトナム語 5名、タガログ語 5名）

医療通訳者紹介

派遣件数	9件
言 語 数	4言語（フィリピン語、ベトナム語、ポルトガル語、スペイン語）
派遣病院	4病院（静岡県立こども病院（静岡市）、静岡市立清水病院（静岡市） 静岡県中部健康福祉センター（藤枝市）、菊川市立病院（菊川市））

イ 静岡型定住外国人就業・定着システム構築事業（県委託事業）

定住外国人の正社員就業を支援するため、外国人求職者への情報提供や就職相談に対応した。

アドバイザー派遣

就職を希望する定住外国人及び雇用に関心のある企業双方に寄り添い、アドバイスをを行った。

- ・企業登録者数 82社（令和7年3月末時点）
- ・外国人登録者数 115人

ウ 外国につながる高校生を対象とした日本語教育及びキャリア支援事業

日本語クラスの開催（（一財）自治体国際化協会助成金事業）

開催時期	令和6年4月～令和7年2月	
内 容	日本語能力が不十分で学校生活や授業理解に課題を抱えている生徒を対象とし、進路決定や漢字強化を目的とした日本語指導を行った。	
実 施 校	私立誠恵高校（沼津市）	県立浜松北高校定時制課程（浜松市）
回 数	全24回	全31回
参加人数	延べ94名	延べ158名

講 師	グランジャー・グローバル・アカデミー	岡田理江（にほんご NP0）
-----	--------------------	----------------

エ ブラジル人学校生徒キャリア形成支援事業（県委託事業）

ブラジル人学校に在籍する生徒を対象とし、キャリア教育を実施する。生徒一人ひとりが卒業後の生活や自分の将来について考え、自分の進路について理解を深めることをねらいとし、企業講話やキャリア講座、職業体験、個別支援等を実施した。

学校名 ※各種学校認可済	所在市
EAS（エスコラ・アレグリア・デ・サベル）※	浜松市
エスコラ・アウカンセ	浜松市
オビジェチーボ・デ・イワタ・チア・ホーザ	磐田市
セントロ・エドゥカシオナウ・ソヒゾ・デ・クリアンサ	菊川市
セントロ・デ・エンシーノ・ニッポ・ブラジレイロ	菊川市

企業講話

開催時期	令和6年6月～8月（全8回）
内 容	中学生、高校生を対象とし、外国人を雇用している企業担当者やブラジルルーツで現在社会人や大学生として活躍している先輩を講師に迎え、仕事内容や必要な日本語力等についてお話いただいた。
講 師	相川ヌビア氏（静岡文化芸術大学生） 柳澤クリスティーナ氏（静岡文化芸術大学、浜松大平台高校他） 宮本ルーカス氏（通訳） 高木智美氏（聖隷こども園こうのとり豊田園長） 溝井リキ氏（聖隷こども園こうのとり豊田保育士） 村上ナオキ氏（県教育委員会日本語指導コーディネーター他） 高森ジャケリネ氏（Linda Store 代表取締役） 紺野モレイラ氏（掛川市教育委員会通訳） 林田ススム氏（㈱ススム代表取締役） 泉恵美子氏（カフェフォンテ経営者）
参 加 者	292 名

職業体験

開催時期	事前学習 令和6年7月～11月 職業体験 令和6年9月～11月 振り返り・進路計画 令和6年10月～11月
内 容	高校生を対象とし、事前学習では、体験先企業について調べ、自己紹介や質問するための日本語を学んだ。訪問先企業で軽作業等を1日体験させていただき、その後は体験から学んだことの振り返りと進路について考える講座を実施した。

講 師	中村文江氏 (EAS) 鈴木のり子氏 (エスコーラ・アウカンセ) 菅原明子氏 (オビジェチーボ・デ・イワタ・チア・ホーザ) 岸川順子氏 (セントロ・エドゥカシオナウ・ソヒゾ・デ・クリアンサ) 岸川順子氏 (セントロ・デ・エンシーノ・ニッポ・ブラジレイロ)
職業体験先企業	Racine (美容室) 呉竹荘 (ホテル) ぬくもりのおうち保育 (小規模保育園) スズキ自販浜松 (自動車販売、整備) ㈱IROHA (花き、卸売業) ㈱鳥居食品 (食品加工、販売業) NPO 磐田市スポーツ協会 (スポーツ施設) 豊田一空園 (介護施設) ひと・ほんの庭にこっと (子育て支援施設) 聖隷こども園こうのとり富丘 (保育園) アマンビューティーリゾート (美容室) 山田金属㈱ (製造業) ケアハウス ゆやの里 (介護施設) 聖隷こども園こうのとり豊田 (保育園) ㈱LINDA STORE (靴販売店) ㈱静岡スチール (鉄筋加工) アートメリ・サロン (美容室) 清松園 (障がい者支援施設) 長尾モータース (自動車整備) Café fonte (飲食業) キウイフルーツカントリー (農園) 計 21 社
参 加 者	1, 200 名

個別支援

開催時期	令和 7 年 1 月～ 2 月
内 容	将来のことや現在の生活に不安や悩みを抱えている高校生を対象とし、個別の聞き取りを行った。生徒の日頃の様子を理解している日本語教師や、ブラジルルーツの「先輩」がアドバイザーとなり、生徒の相談に対応した。
アドバイザー	村上ナオキ氏、相川ヌビア氏、紺野モレイラ氏
参 加 者	15 名

(3) 日本語指導ボランティア研修会開催事業

外国人住民への日本語指導を行うボランティアの資質向上及び地域日本語教育の推進を目的とし、「静岡県日本語ボランティアセミナー2025」を開催した。

静岡県日本語ボランティアセミナー2025

開催時期	令和7年2月11日（火・祝）
内 容	基調講演と3つの分科会の2部構成で実施した。基調講演では、中学校での教員との出会いや大病を乗り越えて現在教員として活躍する講師の経験談についてご講義いただいた。分科会では、地域日本語教室に対する理解の増進、課題解決に向けたアイデア共有、子ども向け教材の工夫を目的とした講義を実施した。
会 場	静岡県男女共同参画センター「あざれあ」（静岡市）
講 師	伊木ロドリゴ氏（豊橋市立東陽中学校教諭） 高山晃氏（地域日本語教育コーディネーター） 加山勤子（（公財）静岡県国際交流協会） 虎谷千里氏、南里哉子氏（静岡県教育委員会日本語指導コーディネーター）
参 加 者	122名

日本語サポーター

・登録者数 400名（令和7年3月31日現在）

(4) 外国人学校児童生徒日本語支援事業

外国人学校に通う児童生徒の日本語教育について、日本語指導者等と課題を共有した。

【 地域連携・協働事業 】

(5) 多文化共生団体ネットワーク構築

県内市町の国際交流協会や相談窓口、社会福祉協議会等、関係機関と情報共有を図り、生活困窮者に対して生活資金の貸付制度の情報提供や申請にかかる支援を行った。

(6) 外国人児童支援事業

外国人学校に通う生徒の日本語習得の促進を目的とし、日本語教師を派遣し、日本語授業の増設を行った。

ブラジル人学校日本語教育事業（（一財）自治体国際化協会助成金事業）

開催時期	令和6年5月～令和7年2月	
派 遣 校	ソヒゾ・デ・クリアンサ（菊川市）	オブジェチーボ・ジ・イワタ（磐田市）
回 数	全119回	全32回
参 加 者	延べ807名	延べ66名

(7) 外国人技能実習生等日本語支援事業

技能実習生の日本語教育は、企業責任において実施すべきとの考えをもとに、日本語支援者の紹介や地域のイベント参加を促す取組を継続的に行った。

